

寄り添い、
支える。

黒田医院グループ

黒田医院

うらら病児保育園

黒田医院デイケアリフレッシュセンター

黒田医院居宅介護支援事務所

藹藹グループホーム

藹藹デイサービスセンター



医療法人正崇会
黒田医院グループ
<http://www.kuroda-group.or.jp/>

医療法人正崇会 黒田医院

内科 小児科 整形外科 リハビリテーション科 循環器内科 病児保育

〒700-0935 岡山県岡山市北区神田町2丁目8-35

TEL.086-233-3531 FAX.086-222-9024

医療法人正崇会 黒田医院デイケアリフレッシュセンター **デイケア**

〒700-0935 岡山県岡山市北区神田町2丁目8-35

TEL.086-233-3531 FAX.086-222-9024

医療法人正崇会 黒田医院居宅介護支援事務所 **居宅介護支援事務所**

〒700-0935 岡山県岡山市北区神田町2丁目8-35

TEL.086-223-1411 FAX.086-223-1421

有限会社エムアイティエス 藹藹グループホーム **グループホーム**

〒700-0935 岡山県岡山市北区神田町2丁目8-32

TEL.086-223-1433 FAX.086-201-8100

藹藹デイサービスセンター **認知症対応型通所介護**

〒700-0935 岡山県岡山市北区神田町2丁目8-32

TEL.086-223-1455 FAX.086-201-8100



黒田医院

プライマリ・ケアの実現を目的として、
患者さん本人だけでなく、
支えるご家族を交えて医療・療養の方向を検討しています。

診療科目 内科／小児科／整形外科／
リハビリテーション科／循環器内科



触れ合う

「病気」ではなく「人」をみるのが私たちの医療。
しっかりと向き合い、話す、聞く。心の触れ合いを大切に。

「プライマリ・ケア」ということばがあります。
それは、初診から療養、回復まで総合的・継続的にかかわり、
身近で良質なケアを届ける理想的な医療のこと。
病気のもとには想いや家庭や社会環境や、
生活のさまざまなことが関係しています。
通常の診療だけではプライマリ・ケアを
十分に実践することはできません。
個々の生活に入り込んで全体像を見極め、
リハビリを含めた適切なケアをしていきたい——
黒田医院は開院当初から
ずっとそんな思いを抱いてきました。
もつとひとりと向き合えば
もつと医療は理想的なものになる。
私たちはご家族ともころをひとつに
寄り添い支える総合的ケアをすすめています。



うらら病児保育園

病幼児の保育施設として1998年に開設。
急に仕事を休めないなどの
ご家族をサポートしてきました。
感染を防ぐため、症状にあわせて利用できるよう
保育室を数室設けています。

対象者 病気中の幼児



こんな気持ちで

黒田医院は1985年に誕生しました。
病気を診る前に人を診る。人を診るためには
周囲の環境や生活状況も見なくてはならない。
病児保育、老人福祉サービス事業を
展開しているのもこんな理由から。
その方のライフスタイルや家族関係、考え方など、
生活環境まで理解してはじめて
私たちの理想の医療・療養ははじまります。



こんな気持ちで

うちのおじいちゃんが
あんなに楽しそうにしているなんて!
ご家族の驚きの声こそ私たちのよろこびです。
デイケアを利用されるのは、
要支援から要介護5までの介護認定を受けた方。
年齢は幅広く、
心身の機能や基礎疾患もさまざまです。
そんなお一人ひとりの症状を考慮しながら
笑顔を増やすことが私たちの努め。
毎日工夫をこらし、心を尽くして
よりよいケアとサービスをお届けしています。

私たちはデイケアの目的を「高齢者の心身機能回復」と共に「社会性の復帰にあると考えています。ここは、レクリエーションやクラフトを通じての機能回復訓練、気功療法、器具を使ったリハビリなど、医療の現場でのノウハウを活かしたトレーニングの場であると同時に、人との出会いの場です。家に閉じこもりがちが高齢者だからこそ、触れ合いを大切にしたい。そして、ご家族にとっては介護の負担軽減のサポートとなるように。ほんのひとときではあります。ご家族に代わって私たちがお世話させていただきます。居宅介護支援事業所として、必要な人に最適な支援が行き届くよう、ケアマネージャーを中心にご利用いただきやすい環境作りを整備しています。



集団リハビリテーションでは、明るいかけ声に合わせてグループで楽しみながら筋肉や関節を動かします。



一人ひとりにじっくり向き合い、 最適で最良のリハビリを。

● 個別リハビリテーション

理学療法士による、1対1のリハビリを行います。脳梗塞後遺症・パーキンソン病などの神経疾患や骨折後・変形性膝関節症・五十肩など整形疾患や認知症など、軽度な方から重度な方まで幅広く対応しています。日常生活をより良く過ごせるよう関節可動域運動、筋力増強運動・立ち上がりや歩行練習などに取り組んでいます。

● 集団リハビリテーション

個々の能力に応じたリハビリテーションを行い心身の機能の維持・回復を図ります。

一人ひとりの症状に合わせた個別リハビリテーション。専門的指導が機能回復の大きなサポートに。



手先を使った作業は脳の活性化にも。

デイケア

定員40名を対象とし、リハビリ部分に重点を置いた通所リハビリテーション。黒田医院グループでは1994年に「リフレッシュケアセンター」を新設して1対1で応えられる専門性の高いリハビリを実施しています。

対象者 要支援・要介護認定者

居宅介護支援事務所

利用者やご家族の要望や状態を考慮してデイサービス、グループホームなどを提案する事務所です。要介護者が居家で日常生活が送れるよう、ケアプラン作成からさまざまな介護サービスの連絡・調整・提供までを行います。



心に響く

出会いや感動や挑戦の繰り返しですが、日常生活の刺激に。利用者のご家族に笑顔あふれる時間を。

こんな気持ちで

ここは、元気に明るく誇りを持って、「家族」が和気あいあいと暮らす家。食事の用意をしたり洗濯物をたたんだり、家事をスタッフと共に楽しむのも日常の風景。散歩をしたり買い物や外食に出かける姿に「入居当初よりも若くなった」という声も。自分ができていることをする。誰かの役に立っているということが自信になる。ささいなことですが、共同生活をする中で生まれる思いやりや誇りが、いきいきとした暮らしを育みます。



花見を楽しんだり買い物に行ったり、笑顔あふれる暮らしがここにあります。



一人ひとりのペースを大切に寄り添う介護を実践。家族のように語らいながら散歩する姿も日常の風景。



野菜を切る人、配膳をする人、洗濯物をたたむ人。家事も自分たちでできる事を楽しみながら。



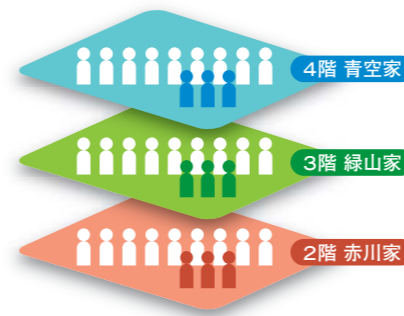
私たちのグループホームでは「青空家」「緑山家」「赤川家」の3つの家があります。ひとつの家に9人、それに約3人ずつのスタッフ(昼間のみ・夜間は1人が加わり、家族のように生活をしています。施設ではなくて「家」。その想いはグループホーム設立当初から変わらず、名前のとおり和気あいあいとした雰囲気の特徴です。認知症対応型のグループホームですが、その日常には行動障害などを感じさせず、私たちの考える「少しの助けとコミュニケーションがあれば認知症の症状は食い止めることができる」ということを実証しています。

デイサービスも提供しており、小規模だからこそできる「寄り添うケアサービス」を実践しています。

あ い あ い 藹藹グループホーム

認知症対応型共同生活のグループホーム。3つの「家」を設けて少人数(5~9人)でスタッフと共に家庭的な生活を送ります。自分らしさや誇りを保った暮らしの確保を目的としています。

対象者 岡山市在住の要支援2・要介護認定者



ぬくもりに包まれ、和気あいあいと暮らす。家族のように寄り添いながら。

共に歩む

あ い あ い 藹藹デイサービスセンター

在宅生活の自立をめざし、食事・入浴・排泄の介助、リハビリ、レクリエーションなどグループケア、個人ケアを各人にあわせて行います。定員12名の小規模な条件を活かし、心に寄り添う細やかなサービスを心がけています。

認知症対応型通所介護 定員12名
営業:日~木 午前8時30分~午後5時30分まで
休日:年末年始、祝日(日曜を除く)

対象者 要支援2・要介護認定者